



志木二小だより

平成30年6月号

志木市立志木第二小学校

埼玉県志木市館1丁目2番1号

TEL 472-0540

//// 学校教育目標 **進んで学ぶ子 心の豊かな子 体をきたえる子** //

児童数	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	たんぽぽ	4/8現在	昨年同時期
	95	72	83	85	101	89	13	538名	527名



祖母の教え ～ 今でも心のどこかに ～

校長 齋地 満

6月は、水無月（みなづき）とも言われます。その語源は所説あるようですが、田植えが終わって田んぼに水を張る必要のある月「水張月（みづはりづき）」という説があります。この時期、風のない晴天の日、水を張った田んぼにすがすがしい青空が映ることがあります。条件が整うと見ることでできる日本の原風景です。

そのような風景を見ていると、田舎の祖母を思い出します。祖母とは、遠く離れて住んでいたため、1年のうち数日しか会うことができませんでした。私が小学校高学年の頃、お盆で帰省した時のことです。散歩の途中で、ふと伝えられた言葉があります。それは、『3』という数字を大事にしてごらん。何かを成し遂げたいと思ったら、3日がんばりなさい。3日がんばれば、3か月がんばれる。3か月がんばれば、3年がんばれる。3年がんばれば、自分のものになる。」というものでした。祖母は続けて、「1回だけでできて、できたとは言わないんだよ。連続で3回できて、初めてできたことになるんだよ。」ということも教えてくれました。祖母の言葉は、私の心に深く残り、その後私は、何事も3回連続でできるまで、練習するようになりました。

祖母の教えと言えば、数年前に流行った上村花菜さんの「トイレの神様」という曲にも、おばあちゃんに「トイレにはきれいな女神さまがいるので、毎日キレイにしていたら、女神様みたいにべっぴんさんになれる」と言われ、トイレをピカピカにし始めた、というくだりがあります。

祖母からに限らず、みなさんにもきっと、心に残る言葉があると思います。それをお子さんに伝えてみてはどうでしょう。日ごろから心掛けていることや心に残っているエピソードなどでもいいと思います。その言葉がお子さんの心に残り、これからの人生の節目で道しるべになってくれるとうれしいですね。校長講話もそのように工夫していきたいと考えています。



